

くまもと未来ネット通信

Kumamoto Mirai Net Working Report

(通信のPDF配信を希望される方は、E-mailでご連絡をお願い致します)

ご挨拶 代表 原育美

コロナ禍が長引く中、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。残念ながら今期も新型コロナが収束せず、私たちの活動も我慢の年となりました。通信も滞り申し訳ありません。

加えて今期は林専務理事の退任という事態に直面し、事務局体制が手薄になったことからさらに活動縮小を余儀なくされました。見かねた井上理事が、非常勤事務局を申し出、昨年12月より週1,2日程事務所にて事務作業への対応をしています。今期の総会資料やこの通信を整えることができました。

そのような中、明石理事を中心としてフェアトレードタウン10周年記念事業の準備が進み、11月13日に多くの若者を巻き込んでシンポジウムが無事に開催されました。また、各担当理事は、3期継続で熊本県アライグマ防除研修事業の受託、水Do!キャンペーン、熊本市「アジア太平洋水サミット」、熊本県「地下水と土を育む農業推進会議」等へ参加、活動を継続しております。また、私を含む複数の理事が関るくまもとSDGs推進財団は、「ひとり親世帯緊急支援基金」「2020熊本豪雨災害支援基金」を立上げ、引き続き地域課題解決に貢献しています。

私は熊本日日新聞「私を語る」の執筆依頼を受け、「つながって、サステナブルな街へ」と題して続可能な地域づくり活動の足跡を振り返る連載が進んでいます。お読みいただければ幸いです。

■ふるさとくまもと応援寄附金の「NPO等支援分」でくまもと未来ネットが選べるようになりました！



皆さま、「ふるさと納税」の仕組みによりNPOの活動を
支える制度がスタートしました！

リストアップされたNPO団体を指定してふるさと納税を実施する事で、寄附金額の2分の1が指定された団体へ交付されます。私たちくまもと未来ネットもリストアップされましたので、ぜひこの仕組みの活用により、私たちの活動へのご支援をお願い致します。詳しくは以下の、熊本県庁「ふるさと納税」のホームページをご確認ください。

(熊本県のホームページより)

地域における様々な課題の解決に向けて公益的な活動を行っているNPO等を支え、熊本県の持続的な発展につながるよう「ふるさとくまもと応援寄附金」の使い道に「NPO等支援分」を追加しました。

ご寄付をいただく際、寄附金の使い道を「NPO等支援分」とし、熊本県に登録されているNPO等の中から支援したい団体を指定いただくと、寄附金額の2分の1が指定された団体に交付され、その団体の公益的な活動に活用されます。残りの2分の1は、熊本県が実施するNPO等支援施策に活用いたします。

ふるさと熊本へのあたたかなご支援をお願いいたします。



- ◆熊本県庁「ふるさと納税」のホームページ

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/furusatokumamoto/75117.html>

- ◆パンフレット（PDF）は、下記をクリックして下さい。

https://kumamoto-mirai.com/images/news/2020/furusato_TAX_2020.pdf

■ 2021フェアトレード国際フォーラムin熊本開催



※他に、1,2,5,8,13が該当します。

2011年6月に熊本市はアジア初（日本初）、世界で1000番目のフェアトレードシティに認定されました。そして今年、多くの市民の皆さんに支えられ、フェアトレードシティ熊本は10周年を迎えることができました。その10年間のフェアトレード活動の成果と今後の課題について考えるための国際フォーラムを開催し、「熊本宣言」を採択しました。

日時：2021年11月13日(土)13:00～17:00

場所：熊本市国際交流会館+オンライン（ZOOM）

- ◆分科会1：フェアトレードタウンの課題と展望
韓国仁川市、札幌市、熊本市のフェアトレード活動報告
- ◆分科会2：教育におけるフェアトレード活性化
- ◆分科会3：地域活性化とSDGs
名古屋市、韓国の生協、熊本市北区におけるFT活動報告
- ◆分科会4：市民と企業によるフェアトレード活動活性化
- ◆ワークショップ：フェアってなあに？
日常の中にあるフェア・アンフェアについて考えてみよう
- ◆2021新作フェアトレードファッションショー



「フェアトレードシティくまもと2021宣言」

フェアトレードシティ認定から10年、世界に認められるフェアトレード リーダー都市へ

熊本市のフェアトレードシティ認定から10年が経過し、私たちは、持続可能で、だれ一人取り残されない社会の実現の緊急性を改めて認識し、地域、国内外の幅広い分野の様々なステークホルダーと手を携えながらフェアトレードの理念の普及に努め、足元からの取組をさらに発展させます。そして地球規模の課題にまちぐるみで取り組んでいる都市として、地域からの取組を広く発信し、世界の人々や社会に貢献することを目指します。



- ー私たちは、フェアトレードの理念に基づいて、自ら足元から行動し、組織や地域の意識啓発に努めます
- ー私たちは、フェアトレードの活動がSDGsの取組を牽引する主要な分野であることを認識し、SDGsと一体的に取り組めます
- ー私たちは、フェアトレードの活動が地域の様々な活動と密接に関連していることを認識し、地域内のフェアトレード活動として他分野との連携に努めます
- ー私たちは、日本初・アジア初のフェアトレードシティとして、その理念と我々の活動を広く国内外に発信することで、世界の人々や社会の変革を促します

フェアトレードシティくまもと10周年実行委員会・熊本市 2021年11月13日

フェアトレードシティくまもと（熊本市）は10周年を迎えます。これまでの取り組みによって、市民の多くにフェアトレードとは何かを知ってもらうことが出来ました。しかしながら実際にエシカル消費としてのフェアトレードを心がけ、お買い物を実践している人はまだ少ないように思われます。10周年を機に文字通りにまちぐるみでフェアトレードを応援し実践する町「フェアトレードシティくまもと」に生まれ変わっていきます。

- フェアトレードシティくまもとホームページ
<http://fairtrade-kumamoto.com>
- フェアトレード漫画
https://note.com/yasu_maeda/n/n17e7a989fafc
- フェアトレードシティくまもと公式Instagram
<https://www.instagram.com/kumamoto2021>
- フェアトレードシティくまもと公式Facebook
<https://www.facebook.com/ftcitykumamoto/>
- フェアトレードシティくまもと公式Twitter
<https://twitter.com/ftck10th>

□Youtube チャンネル ⇒



■ 令和3年度、熊本県アライグマ防除研修事業を受託



熊本県の事業である令和3年度熊本県アライグマ防除研修を受託しました。県内自治体のアライグマ対策担当者向けにアライグマ被害の現状や、その具体的対策（生息調査～捕獲・防除）に対して研修を行ないます。

今年はコロナの蔓延によって、県からの事業実施の公募が半年遅れたため、10月期変わりの当会においては、次年度の実施となります。

本事業の受託は3年目であり、県の担当部署と調整し、今回は県内2箇所での開催を決めています。また、先日下見を行い、屋外の実技研修場所を決めました。12月に県南、県北で1回ずつの市町村農政担当者対象研修会となります。

先日の熊日新聞でも熊本市（植木町）で罠にかかった事が記事になりました。記事によれば、熊

本市内での捕獲は10匹目、県内では述べ76匹が捕獲されているとの事です。

気性が荒く、農作物への被害や在来動物種への影響など、外来種アライグマへの注意が必要です。（歌岡宏信）



罠の設置場所をレクチャー（昨年度の様子）

■ 水Do！キャンペーンから、Refill Japanへ 移動式給水機のクラウドファンディング



「水Do!（スイドゥ）」は、ペットボトルなどの使い捨て飲料容器の使用を減らし、水道水の飲用、「水の域産域消」を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全、人にやさしく潤いのあるまちづくりを促進するキャンペーンです。活動は、1) 自治体の公共調達廃止を応援する、2) 給水スポット（街のオアシス）を増やす、3) 人々の価値観を変える の3つの柱で活動を展開してきました。くまもと未来ネットは地域団体として参加しています。

給水スポットを増やすためには、市民に水道水を再認識してもらうことが必要です。様々なイベントなどで活用する、貸し出し用給水機を自前で

持つために、給水機獲得のクラウドファンディングが実施されました。目標の250万円を達成し、計画が前に進む事になりました。（大住和子）



<https://readyfor.jp/projects/RefillJapan>

■ 「フェアトレードシティくまもと10周年 クラウドファンディング」 始まりました！

今年で「フェアトレードタウン認定」から10周年となる熊本市フェアトレードシティくまもと推進委員会が主となり、10周年記念事業を進めています。これからは、定着させる活動を行います。

一般財団法人くまもとSDGs推進財団では、クラウドファンディングを立ち上げて支援します！！



11月1日から寄付の募集を開始しました。<https://congrant.com/project/kumamoto/3739> ぜひクラウドファンディングでの応援を、よろしくお願いします！

■ソーラーシェアリングの経過



コロナ禍によりパネルメーカー（中国）の動きが停滞した状態でしたが、4月になり九州電力が太陽光・風力に対する出力制御（買取の制御）のルールを変更しました。

出力制御とは、稼働すれば昼夜一定レベルを維持する原子力や火力発電に対して、春秋の昼間の太陽光の発電条件が良いピークにおいて、送電線の許容量を越えてシステム障害が起こるのを避けるために実施されます。私たちは再生可能エネルギーを優先し、原子力や火力側の制御が筋と考えるのですが、原子力や火力は細かな出力変化が難しく事故のリスクが伴うため、制御し易い太陽光側を制御するのです。

今まではメガソーラー等、大きな設備を優先的に制御されていましたが、今年4月より九州電力は低圧（50kW以下）についても同率の制御を掛ける様に仕組みを変更しています。

このため、4月以降設置された低圧の太陽光発電施設では、実績として約20%が制御された様です。さらに出力制御の管理は九州電力にあるため、今後この数字に留まるかも不確定です。

よって、FITが低価格化している状況でのソーラーシェアリングの事業でしたが、事業の再構築が必要となり、採算が取れない施設は撤退を余儀なくされる可能性があります。（井上 智）

■編集後記（事務局の活動から）

昨年12月から急きょ非常勤事務局として事務を担当しています。かんくまの立上げ当時の経験はありましたが、法人としての事務は複雑多岐であり、冷や汗をかきながら対応して来ましたが、総会の開催→法人管理の県（アイポート）への報告→法務局対応、銀行回り、入金・出金、日々のクラウド会計入力、理事会のバックアップ、過去の業務の振返りと修正、緊縮財政への対応、棚卸し、等々。往復2時間の通勤（CO2排出）を気にしながら、効率的な時間配分と優先順位を考え努力して来ましたが、元々の理事担当であるソーラーシェアリングや地下水涵養、ホームページやSNS対応、通信の発行、これらへの時間を割くことが出来ず、ずるずる一年が経過してしまいました。会員および関係者の皆様には、誠に申し訳ありません。事務局体制の拡充は難しい状況が続くと思われますので、行き届かない状況があると思いますが、引き続き、ご支援をお願い申し上げます。（井上 智）

ご支援・ご協力をありがとうございます （2020.10～2021.9）

【正会員】

（個人） 栗谷利夫、手嶋敬、中村潤三、坂本講一、鎌田聡、松本圭子、小椋清市、白石伸彦、吉住眞、草野龍二、園田敬子、勝連洋務、海原尚佳、朱永徳、永村一泰、菅野隆明、大住和子、歌岡宏信、山口久臣、明石祥子、中地重晴

（法人）（株）ネイチャー生活倶楽部、（医）原武会 北部病院、白井工業（株）、（社）熊本県保険医協会

【賛助会員】

（個人） 田中利和、富山善一、愛甲三朗、菊水正博、備後由喜江、中村博子、村山知之、真次寛、磯田毅、反後人美、沼津秀樹、清田真理子、中坊真、山口登代、鬼海洋一、平野みどり、四宮千絵

（法人・団体）コムスタカ外国人と共に生きる会、熊本県労働者福祉協議会、（株）終調剤

【維持会員】 九州太陽電池工業、宇野昭彦、原育美、宮北隆志、宮瀬美津子、井上智

※敬称は省略しております。

寄付・会費等のお支払いは以下の口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行 味噌天神支店	普通預金	1495574	NPO法人くまもと未来ネット
九州労働金庫 熊本支店	普通預金	2702440	NPO法人くまもと未来ネット
郵便振替 記号01930-4 番号60756			NPO法人くまもと未来ネット

【発行】



NPO法人
くまもと未来ネット
Kumamoto Mirai Net

〒862-0942 熊本市東区江津1-7-17

TEL 096-362-3776 / FAX 096-200-6395

E-mail : home@kumamoto-mirai.com

Web Site : <https://kumamoto-mirai.com>



QRコード